

京都府立医科大学附属病院看護部看護研究論文集 投稿規程

I. 投稿資格

本誌の投稿者は原則として本学の看護部職員に限る。ただし、看護学科教員、大学院生、共同研究者等、編集委員会が執筆を認めた者はこの限りではない。

II. 原稿の種類

投稿原稿の種類は、総説、原著、研究報告、実践報告、資料、その他のいずれかであり、原稿にその何れかを明記する。

【総説】(Review Article)

看護学に関わる特定のテーマについて文献考察を行い、当該テーマについて総合的に現状と展望を明らかにしたもの。

【原著】(Original Article)

独創的で、新しい知見や理解が論理的に示されているもの。

【研究報告】(Research Report)

研究結果の意義が明らかで、報告する価値が高いもの。

【実践報告】(Report)

ケースレポート、フィールドレポートなど。

【資料】(Information)

看護学に関連する有用な調査データや文献などの報告等で、委員会において資料的価値があると認めたもの

【その他】(Others)

上記以外において編集委員会が適当と認めたもの

III. 投稿論文の制約

論文は独創的な研究で、他誌に未発表のものに限る。また、倫理上問題となるものは採用しない。

IV. 投稿論文の著作権(財産権)

本論文集に掲載された論文、抄録の著作権は、京都府立医科大学附属病院看護部に帰属する。

V. 論文原稿の作成について

1. 原稿の書式設定

1) 様式をナースナビよりダウンロードして原稿を作成する。

※ A4 判に横書き、1 行の文字数は 35 字、1 ページの行数は 30 行、1 ページ 1,050 字とする。

2) 本文の文字サイズは 10.5 ポイントとし、和文フォントは明朝体で全角、英文およびアラビア数字は半角とする。

◆注意◆

◆論文原稿は 1 段組みで作成し、投稿します(抄録原稿とは様式が異なります)。

◆ダウンロードした原稿様式はすべて書式設定済みですので、設定を変更しないでください。

2. 原稿執筆要領

1) 上部に 1 段組で表題、発表者名(氏名の頭に○をいれる)、共同研究者名、所属、キーワード(論文の内容を表わす重要な語句を 3~5 個)を記載し、中央揃えとする。

※所属は名前の後ろに上付で番号を付ける。正式名称を記載する。看護部・医学部看護学科については、1) 京都府

立医科大学附属病院○病舎、2) 京都府立医科大学医学部看護学科と記載する

2) 本文

- (1) 文字数は本文（スペースを含む）・引用文献・図表を合わせ、7,000～8,400 字程度（A4 判 横書き 35 文字×30 行にて6 枚半～8 枚程度）とする。
- (2) 本文・引用文献は、文中の空白を含めて1 行につき 35 文字とカウントする。
- (3) 原稿は和文・新かなづかいを用い、外国語はカタカナ表記、外国人名や日本語訳が定着していない学術用語等は原語にて表記する。
- (4) 原稿は、「はじめに」・「目的」・「方法」・「倫理的配慮」・「結果」・「考察」・「結論」の項目別にまとめ、各項目にはローマ数字で番号をつける。また「はじめに」では、先行文献を検討した旨を明記し、倫理的配慮については実施要綱を参考にすること。
- (5) 図表等の挿入希望位置を本文中（ ）で指定する。
 <記載例> ……である（表1）。
- (6) 図表は、本文・引用文献の後に、一括して掲載希望サイズで提出する。

◆論文における図表の作り方のルール◆

1. 図表タイトル	4. その他
・図表それぞれに通し番号とタイトルをつける	・タイトルは内容が簡潔にわかるようにする
・表タイトルは表の上に、図タイトルは図の下につける	・図表タイトルはセンタリングまたは左寄せにする
・表の各列、図表の座標軸には項目名（見出し）をつける	・標本数（n = ●）をつける
	・文字や単位が読みとれ、わかりやすい大きさに作る
2. 単位	・表は見出し行の上下にヨコ罫線を引き、データと区別する
・人や%など、単位をつける	※本文とは一括して作成し、本文中に挿入希望位置を指定する
3. 体裁	
・説明が必要な場合は、図表下に注釈をつける	
・1つの図表に内容を盛り込みすぎない	
・表はタテ罫線を極力使わず、スペースで項目を区分する	

（出典 日本看護協会編：看護実践研究・学会発表のポイント Q&A 下巻 論文作成から投稿へ、日本看護協会出版会，p.34, 2013）

◆注意点◆

- ◆論文の文字数（7,000～8,400 字程度）には、本文だけでなく引用文献、図表も含まれます。図表がある場合、文字数換算を参考のうえ、規程の文字数に収まるよう原稿を作成してください。
- ◆本文中の大項目から小項目の番号の振り方は、I → 1 → 1) → (1) → ①の順としてください。
- ◆演題発表の際のパワーポイント資料をそのまま貼付けないでください。
- ◆論文集への掲載は白黒印刷で行うため、図表はカラーで作成しないでください。
- ◆図表については原稿に添付されたサイズ・体裁で掲載します。内容が判別できるか（文字・数字・枠線等がぼやけていないか、小さすぎないか等）を必ず確認してください。

3) 引用文献

- (1) 引用文献は引用順に本文の引用箇所の肩に 1) 2) と番号をつけ、本文原稿の最後一括して引用番号順に記載す

る。

(2) 引用文献は次のように記載する。 ※「文献記載方法および記載例」参照

(3) 共著者は3名まで表記し、それ以外は他とする。

◆文献記載方法および記載例◆

<雑誌掲載論文>

◆著者名：表題名，雑誌名，巻（号），頁，発行年（西暦年次）。

例) 学会花子：看護研究の〇〇〇について，〇〇看護，25（11），p.35-38, 2008.

例) 学会花子，日本協子，清瀬看子，他：看護の〇〇〇研究，第〇回日本看護学会論文集（看護管理），p.5-8, 20△△.

<単行本>

◆著者名：書名（版），発行所，頁，発行年（西暦年次）。

例) 学会花子：看護実践研究の手引き（3），〇〇看護出版，p.145-148, 2006.

◆著者名：表題名，編者名，書名（版），発行所，頁，発行年（西暦年次）。

例) 学会花子：研究における〇〇，日本協子編，看護実践研究（2），△△出版，p.76-88, 2007.

例) 前掲書 1), p.100-115.

<翻訳書>

◆原著者名：書名（版），発行年，訳者名，書名（版），発行所，頁，発行年（西暦年次）。

例) Alice Williams：Nursing Research（4），2001, 学会花子訳，看護研究（4），〇〇看護出版，p.298-280, 2003.

<電子文献>

◆著者名：表題名，雑誌名，巻（号），頁，発行年（西暦年次），アクセス年月日，URL。

◆発行機関名（調査／発行年次），表題，アクセス年月日，URL。

例) 文部科学省，厚生労働省（2014），人を対象とする医学系研究に関する倫理指針，2015年4月10日閲覧，
http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf.

※公的機関から提供される情報（統計、法令等）、電子ジャーナルのみを対象とする

4) 諸注意

(1) 投稿論文が他誌との重複投稿である場合は、投稿を取り消す。

(2) 尺度等および商標登録物の使用許諾は著者があらかじめ得ておくこと。図表等の転載は転載許諾を得た上で出典（文献）を明記すること。

(3) 論文集に掲載の所属施設名は、正しく記載する。共同研究者は全員の氏名を掲載順に記載する。

◆注意点◆

◆既存の尺度等を使用する際、開発者からの許諾が必要かどうかをあらかじめ確認し、必要な手続きを行ってください。一部改変して使用する場合は開発者からの許諾を必ず得てください。また、行った手続きおよび出典を本文中に明記してください。

◆写真や図表などの転載は原則として認めません。論文作成に必要な内容を本文中に記述し出典を明記してください。

◆他の文献等に掲載されている図表等を自分で打ち直して作成した場合も、内容が同じであれば転載となります。

VI. 投稿原稿の提出

投稿原稿は、原稿1部を編集委員会（看護部）に提出すると同時にメールで（添付）看護部教育担当副看護部長へ提

出する。

メール件名「看護研究論文 部署名」、ファイル名「●（西暦年度）看護研究論文」（数字は発表年度）とする。

Ⅶ. 原稿の受付けおよび採否

投稿原稿の採否は、査読を経て、編集委員会で決定し、投稿者に通知する。

また、編集委員会の決定により、投稿者に原稿の修正及び原稿の種類の変更を求めることがある。

（査読後の修正は3回を限度とする）

Ⅷ. 著者校正

原稿の校正は投稿者の責任において行い、原則として再校までとする。校正はすみやかに行い内容及び組版面積に影響を与える改変は許されない。

Ⅸ. 掲載料等

論文の掲載料は無料とする。別刷の増刷はしない。

X. その他

この規程に定めるもののほか、論文集の編集に関して必要な事項は別に定める。

附 則 この規程は、平成29年11月1日から施行する

<参考資料>

研究における倫理的配慮と記述方法（平成 30 年度日本看護学会実施要綱より抜粋）

1. 先行文献を調べて活用していますか？

すでに研究結果が出ているテーマを繰り返し研究することは倫理的に問題があると考えられます。そのため、研究課題とその背景にあるものを先行文献から調べた上で研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし発表の意義を明確にすることが大切です。文献検討の結果を「はじめに」・「考察」で適切に引用しましょう。

2. 研究フィールドや研究対象者を特定されないよう配慮していますか？

「当院」「当病棟」等の表現では、研究者の所属を見ることから研究フィールドが特定され、固有名詞を使用していることと同じです。そのため、「A 病院」のように匿名化した表記とします。研究対象者へのプライバシーの配慮として、抄録の記述内容で研究対象者が特定できないようにします。固有名詞（当院・当病棟も含む）・写真等を掲載する場合は、研究結果を示すためにどうしても必要な場合のみとし、掲載することで研究対象者が特定できないよう十分配慮し、掲載の承諾を得られた旨を明記してください。

3. 研究対象者の個人情報を保護していますか？

データの解釈に必要な研究対象者の情報は必要ですが、不必要な個人情報を公表しないように配慮します。例えば、入院および退院の情報が必要な時は、年月日ではなく入院期間を記載するなどの配慮が必要です。また、結果に直接関与しない個人情報は記載しません。

4. 研究対象者への説明と自由意思による同意を得たことを記載していますか？

研究の目的、方法、期待される結果と対象者にとっての研究協力に関する利益、不利益を研究対象者へ伝えた上で、研究の実施と公表についてどのように同意を得たか、具体的なプロセスを明確に記載する必要があります。またその際、研究協力への同意が強制されることなく、自由に判断できた事実を記載する必要があります。学生を対象とした研究の場合も、患者を対象としたときと同様の配慮が求められます。たとえば入院中に病棟の看護ケアの質評価を無記名で依頼を行っても、入院中の患者が自由意思で調査への参加を決定したとは判断しにくいいため、退院時にこの調査を依頼する、などの工夫が必要になります。十分に配慮し、またどのような配慮を行ったかを具体的に明記する必要があります。

研究への同意に適切に判断ができない状態にあると考えられる対象者の場合は、代理人もしくは代理人が存在しない場合には病院の倫理委員会等で承認を得た事実を記載する必要があります。また研究依頼時には適切に判断ができない状態であっても、回復とともに判断できる状態になれば、その時点で研究協力の同意を対象者から再度得る必要があります。

看護師へのインタビューを行う研究において、自分たちが看護ケアを行った患者に関する情報を詳細に述べるような場合には、その患者にも研究の同意を得ておく必要があります。しかし何らかの理由でその患者から同意が得られない場合には、家族もしくは病院の倫理委員会等で承認されることが必要です。また過去のデータを分析する場合にも、可能な限り研究対象者からの同意を得ますが、それが困難な場合には病院の倫理委員会等での同意が必要となります。

5. 倫理委員会での承認を受けたことを記載していますか？

研究に際しては、一般的に所属施設の倫理委員会の承認を得て実施することが求められています。特に、人間や動物を対象とした研究、研究施設の内部データを使用する等の倫理的な配慮が重要となる研究を行う場合には、倫理委員会等（倫理委員会がない場合にはそれに相当する複数の第三者による組織的了解を得ること）で承認を受けていることを明記してください。研究の実施だけでなく、結果の公表（発表）に関しても、研究対象者および研究施設の承諾が必要です。倫理委員会の名称は匿名とはせずに実名を用いて正確に表記しますが、倫理委員会の実名を表記することで研究対象者が特定される可能性がある場合には、『所属施設の倫理委員会』等の表記としてください。

6. 研究への参加によって対象者に負担や不利益がないように配慮したことを記載していますか？

倫理委員会での承認を受けたことの記載のみでなく、対象者の負担や不利益を避けるために配慮したことを記載します。研究協力依頼の内容と方法、予測されるリスクへの対策（中止基準の設定等）、研究データの取扱い、質問紙の回収方法等、研究結果の公表等、研究の全過程においてどのような倫理的配慮を実施したかを簡潔に記載する必要があります。

7. 著作権等の侵害がないように配慮していますか？

文献から本文を引用する場合は、出典（文献）を明記します。図・表は転載許諾を得た上で出典（文献）を明記して下さい。既存の尺度を使用する場合は、必要に応じて尺度の作成者から許諾を得たことを記載し、出典（文献）を明記してください。尺度を改変して使用する場合は、作成者から許諾を得たことを必ず明記してください。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い、（ ）内に商品名と登録商標の場合は®を記載して下さい。

8. 利益相反の有無について明記していますか？

「利益相反」とは、臨床と企業間での共同研究の場合に、公的利益（得られる結果を社会へ還元する）と私的利益（個人が取得する金銭、地位、利権など）が研究者個人の中に生じる状態の事を指します。看護研究では企業から無償で提供された器材を使ったり、企業や営利団体から研究費の提供を受ける場合もあり、利益相反そのものは問題ではありません。しかし、そのような経済的な利益関係などにより、研究に弊害が生じることが問題となります。そのため、公表資料（発表資料、抄録、論文など）に利益相反の有無を記載し自己申告することにより、その研究結果の中立性と公明性を確保して研究の責務を適正に果たしていることを実証する必要があります。

例）＜利益相反がある場合＞本演題発表に関連して、過去1年間に△△社から研究所属の看護部への委託研究費・奨学寄付金などの研究費、および個人的な講師謝礼を受けている。

＜利益相反がない場合＞本演題発表に関して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

論文投稿チェックリスト

	チェック項目	チェック欄
1	論文の内容は他の学会や他誌、本学会の他領域に公表あるいは投稿されていないものですか	<input type="checkbox"/>
2	本文（スペースを含む）・文献・図表を含めて7,000字～8,400字程度（6枚半～8枚程度）にまとめていますか	<input type="checkbox"/>
3	本文はA4判用紙に1行35字、1ページ30行で作成していますか ※抄録原稿とは違い2段組みではないためご注意ください	<input type="checkbox"/>
4	本文の文字サイズは10.5ポイント、和文フォントは明朝体で全角文字、英文・アラビア数字は半角文字となっていますか	<input type="checkbox"/>
5	本文は「はじめに」・「目的」・「方法」・「倫理的配慮」・「結果」・「考察」・「結論」の項目別にまとめ、各項目にはローマ数字で番号をつけていますか	<input type="checkbox"/>
6	図表等の体裁は整っていますか ※図表ごとに通し番号とタイトルを付ける、タイトル位置（図は下、表は上）、単位・標本数の表記など	<input type="checkbox"/>
7	図表等は、白黒印刷で判別できる明瞭なものですか ※カラー原稿は不可です	<input type="checkbox"/>
8	文献の記載方法は投稿規程に従っていますか	<input type="checkbox"/>
9	本文中の引用箇所と本文の最後の引用文献一覧の番号および内容は一致していますか	<input type="checkbox"/>
10	文献の情報は原典に相違ありませんか	<input type="checkbox"/>
11	実施要綱にある「研究における倫理的配慮とその記述方法」は熟読しましたか	<input type="checkbox"/>
12	研究対象者へ研究内容および研究結果の公表等について説明し、承諾が得られていますか	<input type="checkbox"/>
13	研究対象者が特定できないよう配慮していますか	<input type="checkbox"/>
14	固有名詞（当院・当病棟を含む）を使っていませんか	<input type="checkbox"/>
15	研究への参加によって、対象者に不利益や負担が生じないよう配慮していますか	<input type="checkbox"/>
16	倫理委員会等の倫理審査を受け、承認を得ていますか	<input type="checkbox"/>
17	他の文献から本文を引用する場合、著作権に配慮し出典を明記していますか ※図表や写真等の転載は原則として認めません	<input type="checkbox"/>
18	既存の尺度等および商標登録物の使用について、著作権者から必要な許諾を得たうえで出典を明記していますか	<input type="checkbox"/>